

〔国際会議発表〕

発表研究者	九州大学 システム情報学府 博士後期課程 鈴木 積規	2172003
参加会議	The ACM/IEEE-CS Joint Conference on Digital Libraries (JCDL 2017)	
出張期間	2017年6月18日～6月25日	
開催場所	トロント市・カナダ	
発表論文	Mathematical Document Categorization with Structure of Mathematical Expressions	

概 要：

参加会議 The ACM/IEEE-CS Joint Conference on Digital Libraries は、図書館情報、電子図書館分野では最も大きな国際会議である。図書館情報の利活用の促進がテーマとなっており、大学での研究者に止まらず、図書館での研究者が集まり、セッションやワークショップを設けている。そのために該分野の最大規模の会議である。当会議に参加して、図書館情報における研究動向を把握する、自身の研究を発表し他参加者と意見交換をすることは、該分野の発展はもちろん、今後の自分の研究の発展に意義がある。本会議で、数学文書分類に関連するセッションは、特別講演と口述セッション及び2セッションであった。特別講演では、科学文書マイニングの研究動向、課題について詳しい説明を受けた。また意見交換により研究のヒントを得ることができた。受領者が発表を行った口述セッションでは、テキスト抽出がテーマに設定されており、テキスト抽出ソフトウェアの開発など、計3件の発表が行われた。文書マイニングに、テキスト抽出は欠かせない技術であり、現在利用可のソフトウェアがどれくらいの精度が出ているのか、どうすれば精度向上に繋がるのか、また科学文書の応用として、数学文書分類や数式の抽出はどのような貢献ができるのか議論された。数学文書分類の周辺の研究分野で取り組まれている研究を知ることができ、自身の研究の展開について考える機会となった。その他にも、科学文書マイニングに関する研究発表が多数あり、数学文書処理に応用可能な技術について学ぶことが多かった。